

第 11 回滋賀県文化審議会評価部会の概要

1. 開催日時

平成 28 年 9 月 8 日（木）15:00～17:00 滋賀県庁本館 4 A 会議室

2. 議 題

- (1) 部会長および部会長代理の選任について
 - ・委員の互選により中川委員を部会長に選任。
 - ・部会長から部会長代理に富永委員を指名。
- (2) 平成 27 年度の滋賀県文化振興基本方針評価指標の実績について
- (3) 平成 27 年度個別事業評価にかかる対応について
- (4) 滋賀県文化振興基本方針(第 2 次)にかかる評価指標について
- (5) 平成 28 年度の個別事業評価にかかる検討について
- (6) その他

3. 主な意見

議題 (2) 平成 27 年度の滋賀県文化振興基本方針評価指標の実績について

- ・指標 9 番目の滋賀県芸術文化祭における若者の参加者数が好転し増加したのは大変喜ばしい。ただ、目標値に達していないものも多いので、この辺をどうしていくのか。県ができることと、できないことがあるかと思うので、その辺をどう捉えていくのか。
- ・琵琶湖博物館のリニューアルもあって、数は増えてもおかしくないと思うが、美術館など件数が少なくなっているのは気になる。
- ・芸術文化の鑑賞の仕方として、今は家で見るとか、鑑賞スタイルも変わってきているので、そのあたりを今後もう少し視野に入れて評価していく時代に入ってきたのではないかな。

議題 (3) 平成 27 年度個別事業評価にかかる対応について

- ・近代美術館のアール・ブリュット展について、なぜ滋賀県でアール・ブリュットの展示を行うのかというストーリーを構築して、広く発信した方が良いのではないかなと思った。もう少し外に向かって来館していただけるように、先へ発信した方がよいのではないかな。
- ・アール・ブリュットは捉え方が難しいと感じた。専門家でも議論がされており、アートの概念の拡張の余地もある。理解の深まりと幅の広さをうまく捉えないと、新たな美術館でこれをやっても一体何なんだとなってしまう。きちんとした趣旨を理解してほしいので、議論の内容をしっかりと伝える必要がある。
- ・主催者側としては、どうしても特に県立とか公的施設だと衛生無害なところにどうしても目が行きやすくて、それ以外のものにはつい目をふさいでしまうが、ぜひこれからは特にアール・ブリュットに関してはそれが本質に近いところにあると思うので、そういうことを大事にしていきたい。
- ・美術館のアール・ブリュットに関しては、なぜ滋賀県がアール・ブリュットに力を入れているのか、もう少し説明がいるのではないかな。それをもう少し定着させていけば、アール

・ブリュットの最先端の作品は滋賀に行けば鑑賞できるよという定評を勝ち取ることに
なるかと思う。成安造形大学については、学内的な催しなのか、社会に向けて開かれてい
くのか、お互いにこれからも研究し討議していくことが必要かもしれない。アートをクリ
エイトする現場が社会に向かって訴えかける力があるんだと言っているが、理念はあるけ
どツールがないと思う。だからダメだと言っているのではなく、非常に微妙な立場にいる
のではないかということが分かった。

- ・県内では、近代美術館等でアール・ブリュットを展示されたことがあるが、特徴を捉え
るとNO-MAでは可愛らしい系統の展示が非常に多くて、近代美術館のコレクションは力
強い迫力がある。そういう差があるので、それはじゅうぶん自覚して展示していただけれ
ば。
- ・アール・ブリュットは宝物だと思う。世界的な潮流と言いますか、他が手を入れてしま
うというのは、すごくもったいないと思う。私は作品を見て涙が出るほど感動した。あんな
に赤裸々な芸術分野は無いと思うので、ぜひいろいろな意見があっても世界の潮流の方に、
もっと視野を広げて日本なら滋賀という位置づけをぜひ作っていただきたい。
- ・近代美術館の学芸員の水準が高いなと毎回感じている。県立美術館としての総合力をも
っとまよく発揮していただければ、もっともっとパワフルになると思う。場所的な問題とし
て、アクセスが不便なので損している。以前、瀬田駅を降りた時に美術館の案内が無かつ
た。

議題(4) 滋賀県文化振興基本方針(第2次)にかかる評価指標について

- ・文化サイトの目標値の設定だが、閲覧件数の内訳があると分かりやすい。もう一つは、県
の施設に対する指標ばかりでなく図書館も含めていろんな市町の施設があるが、その利用
等を踏まえ、全体をとらえていかないといけないと思う。
- ・文化振興課として、県内市町の文化振興関係課とのネットワークを完成されたと思っ
ている。そこから、いろんなデータを拾っていく、そういう作業をお願いしたい。そのうえ
でたとえば県内文化施設のネットワークの有効活用とか、その他の県内の市町がやってい
るデータも意識し、反映していきながら県の補完的な分野はどこなのかということが明確
になってくると思う。

議題(5) 平成28年度の個別事業評価にかかる検討について

- ・各委員の日程調整のうえ、10月23日のびわ湖ホール、11月3日の近代美術館で決定。

議題(6) その他

(事務局から8月5日に開催した「滋賀県文化審議会16回会議」の概要を報告)

以上